※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	高等学校　改訂版　現代社会　（第一学習社）						
副教材等	クローズアップ現代社会 2022　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私たちの身近な出来事から現代の社会とはどのようなものか考えていきましょう。
・講義形式の教員からの一方的な授業ではなく、生徒が自ら考え、学ぶような授業形態を取る。
・「政治」「経済」を中心に、現代社会の問題を考えていく。

２　学習の到達目標

現代社会と人間についての理解を深め、様々な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察し、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てること。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	関心を高め、課題を追究、考察し、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて協力する態度を身に付ける。	現代社会の基本的問題を見いだし広い視野に立って考察し、公正に判断して、過程や結果適切に表現する。	様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して効果的に活用する力を身に付けている。	現代社会の基本的問題や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・レポート課題 ・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	・定期考査（論述問題） ・授業での発言・発表 ・課題の成果	・定期考査 ・レポート課題 ・課題への取組状況	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期（後期）	第1編　私たちの生きる社会	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・科学技術の発達と生命倫理 ・高度情報社会と私たちの生活	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:現代の諸問題について、自らの問題として考える態度を身につける。 b: 現状と課題について、関連資料を活用しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している c: 地図や統計資料などを収集・活用し、情報を適切に選択しながら、地球環境問題や資源エネルギー問題の現状などを正確に読み取る力を身に付けている d:現代の諸問題の内容や解決に向けての取り組みについて理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	第2編　現代社会と人間としてのあり方生き方	・青年期の意義 ・青年の生き方 ・伝統文化と私たちの生活	○ ○ 	 ○	○ ○	○ ○ ○	a:青年期の心理には、どのような特徴があるのか、自分自身の問題として考える態度を身につけている。 b:青年期の心理的特質を理解し、職業や社会参加に向けて自己形成の課題を見出している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な資料を教科書やインターネットなどさまざまな情報手段を活用し、収集している。 d:現代の諸問題の内容や解決に向けての取り組みについて理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期（後期）	第2章　個人の尊重と法の支配	・民主政治の個人と国家 ・基本的人権と法の支配 ・世界のおもな政治体制	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a:私たちの生活と政治や国家の関わりや基本的人権が保障されるにいたった経緯について感心が高まっている。 b:私たちの生活と政治や国家のかかわりや基本的人権、各国の政治体制について調査した内容を適切に表現する方法が身についている。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な資料を教科書やインターネットなどさまざまな情報手段を活用し、収集している。 d:国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解し、基本的人権が保障されるにいたった経緯について知識を身につける。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	第3章　現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と安全保障 ・基本的人権の保障と新しい人権 ・国民主権と議会制民主主義 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・地方自治と住民の福祉 ・世論形成と政治参加	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:現代の民主政治のありかたや政治参加について、日本国憲法などを通して、主体的に理解する態度を身につけている。 b:日本国憲法の特色や国会の権限、議院内閣制や裁判所のしくみについて多面的に考察している。 c: 教科書やインターネットなどさまざまな情報手段を活用し、政治に参加する主権者としてどのように意思決定していくべきか多面的に考えている。 d:現代の民主政治のあり方や政治参加について自分自身の問題として理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

前期（後期）	第4章 国際政治の動向と日本の役割	・国家主権と国際法 ・国際連合の役割 ・今日の国際社会 ・核兵器の廃絶と国際平和 ・地域紛争と人種・民族問題 ・国境と領土問題 ・外交政策と日本の役割	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:国際法の意義、国際社会の一員として私たちは何をすべきか、自分自身の問題として理解しようとする態度を身につけている。 b:国際社会の一員として私たちは何をすべきか、討論、発表などの方法を身につけている c: 国際社会の一員として私たちは何をすべきか、教科書やインターネットなどさまざまな情報手段を活用し、主体的に考察している。 d: 国際社会の一員として私たちは何をすべきか、理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	第5章 現代の経済生活と私たちの生活	・経済社会と経済体制 ・経済主体と企業の活動 ・市場経済の仕組み	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:経済の基本的なしくみを主体的に考える態度を身につけている。 b:経済の仕組みについて多角的に考察している。 c:教科書に掲載されている写真や図版、資料などを適切に活用している。 d:経済の基本的な仕組みについて理解し、知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期（後期）	第5章 現代の経済生活と私たちの生活	・経済成長と景気変動 ・政府の経済的役割と租税の意義 ・金融機関の働き ・戦後の日本経済 ・産業構造の変化 ・雇用と労働問題 ・公害の防止と環境保全 ・消費者保護と契約 ・社会保障と国民福祉	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a: 現代の経済社会への基本的問題について関心を高め、自ら経済活動の主体として現代日本の金融・財政問題をとらえ、意欲的に追求しようとしている。 b:現代の市場経済の特質と現代企業の特質と現代企業の特徴を理解し、日銀の金融政策と政府の経済政策の現状と課題を見出している。 c:景気変動や戦後の日本経済など教科書やインターネットなどさまざまな情報手段を活用し、主体的に考察している。 d:雇用や労働問題、公害、消費者問題などを理解し、知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期（後期）	第6章 国際経済の動向と日本の役割	・国際経済の仕組みと貿易の拡大 ・進む経済統合 ・国際経済の動向 ・発展途上国の経済と南北問題 ・国際協調と日本の役割	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	a:国際経済の動向と世界各地の地域経済に興味関心を持ち、経済摩擦や南北問題の現状をとらえ、自らの役割を考えている。 b:国際経済の原理と戦後の国際経済の動向を理解し、日本の果たすべき役割について理解している。 c:国際経済のしくみや貿易、地域的経済統合などインターネットなどさまざまな情報手段を活用し、主体的に考察している。 d:国際協力はどうあるべきか、自分自身の問題として理解し、その知識を身につけているか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期（後期）	第7章 現代に生きる倫理	・豊かな人生を求めて ・日本の伝統的なものの考え方 ・近代西洋思想 ・現代に生きる人間の倫理	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:哲学や宗教について具体的に興味関心を持ち、宗教問題の現状をとらえ、自らの役割を考えている。 b:哲学や宗教について具体的な事例を取り上げ、多角的に考察している。 c:哲学や宗教についてなどインターネットなどさまざまな情報手段を活用し、主体的に考察している。 d:哲学や宗教の役割を理解し、人生を豊かにするための知識を身につけているか。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。